

未来に向けて、2学期の学びを振り返りましょう！

校長 松本 雅史

いよいよ明日から冬休みが始まります。

今、急に寒くなって「冬だな」と実感する毎日ですが、ついこの間、11月までは、暑い日が続いていました。

11月15日（金）の「ぱくぱくつうしん」で、「シイラのみそやき」について紹介されていました。シイラは、かつて、ハワイなど南の海でとれていた魚でした。それが、今は北海道でたくさん獲れているということでした。

地球がおかしい！

未来は本当に大丈夫なのか？

今のままを続けていっていいのか？

自分たちはどんな未来を創っていきたいのか？

今できることは何なのか？

この2学期は、そうした学びをどの学年もすすめてきました。

未来のこと、地球のことを考える前に、私たちがすんでいる、ふるさと「花小金井」「小平」を愛する気持ちをしっかり持つことが大切です。自分のふるさとを大切に思えない人が、どうしてこの星のことを大切に思えるでしょう。あの公園、あのお店の人、自然や人とたくさん関わって、ふるさとを好きになって大切に思う気持ちを低学年の皆さんは高めてきたと思います。

1年生は、秋の素敵をたくさん感じる学びをすすめました。秋探しの中で、まちの素敵をたくさん発見しましたね。フェスティバルもとても楽しかったですね。

2年生はお店やまちの人とたくさん関わって、たくさんやさしさにふれることができたことと思います。まちの人、2年生の皆さんのことを本当に立派だとほめてくださっていました。素晴らしい交流ができました。

3年生は、食品ロスについて徹底的に学びました。日本では、毎日お茶碗1杯分のご飯を全員が毎日捨てていることを知りましたね。4人家族ならお

茶碗4杯分です。30人の学級ならお茶碗30杯分です。これが毎日なのです。片や食べ物が無くて死にそうな人も世界にすごくたくさんいることも知りました。「何とかしなければ」と訴え、行動していました。

4年生は、ゴミ問題でした。4年生は、何度も地域にゴミ拾いに出かけました。ポイ捨てされたゴミが、雨水と共に下水管を流れ、簡単に海にまで行ってしまったことを知りましたね。ゴミ処理の方をお招きしてお話を伺いました。燃えるごみの三分の一が、まだ食べられる食品だと伺ったときはショックでしたね。

5年生は「リスペクト・こだいら」をテーマに地球規模の問題やSDGsについて学んでいきましたね。それぞれがテーマをもち自由な発想で取り組みました。募金やフードパントリーなど行動的に学びをすすめていました。

6年生は、日光・尾瀬移動教室からスタートした2学期でした。本物の尾瀬の自然、そして尾瀬高校の皆さんとの出会いは、生涯の宝物になったのではないのでしょうか。尾瀬で学んだ「何が本当の豊かさなのか」という追求は、JICAの方々との交流でさらに深まったことと思います。連合音楽会も最高に素晴らしかったです。

さくら学級は、「シロクマさんを守れ！」と、地球温暖化をストップさせるための「もったいない」の取組など、1年生から6年生までが一緒になって真剣に学びをすすめました。宿泊学習でも一人一人が大きく成長できましたね。

こうした学びは、みんなが家に帰ってからの生活でどう生かしていくかが大切です。五小の757人全員が、この冬休み、エコを意識した生活ができれば凄いことです。ぜひ、未来のために頑張ってほしいと思います。

次に皆さんが学校に登校するときは、もう新しい年です。今の学年が終わるまであと50日。6年生は51日です。正月には今年の目標を立てるでしょう。明確な目標を持った人が大きく成長します。

「今年はこれを頑張るぞ！」

「こういう自分なるぞ」

「こういう年にしていくぞ」

と、一人一人が決意みなぎる姿で会いましょう。

風邪をひかないように、健康に気をつけて、いい年を迎えましょう。